

特許マップと狙う領域

課題最大の追従性・伸縮に、伸長貼合で答えた特許は13件のみ

	貴社が狙う領域					
追従性・伸縮	11	24	18	41	13	12
かぶれ・透湿	3	0	18	7	0	5
剥がれ・エッジ	5	1	9	5	1	4
薬物の裏抜け・安定性	0	0	11	8	0	6
貼りやすさ・剥がしやすさ	2	4	5	3	0	3
薄型・目立たなさ	2	1	2	5	0	3
製造効率・コスト	0	1	1	0	0	0
分類不能・その他	35	6	30	39	1	14
	その他	エンボス・賦形	フィルム的设计	不織布の素材设计	伸縮体の貼合	積層・接合プロセス

課題が最大の行で他社的手段が薄い

伸長貼合で答えた特許は13件

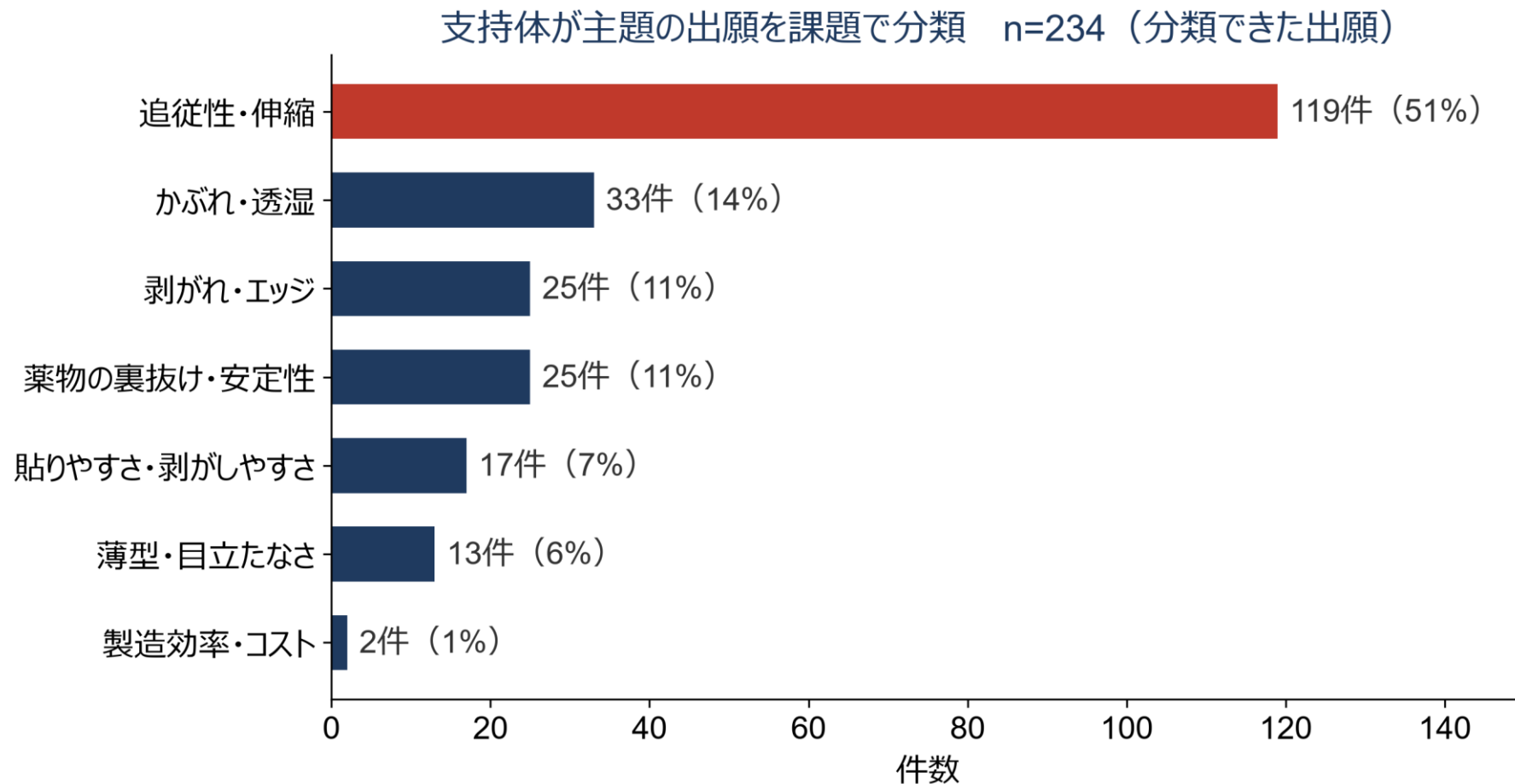
貴社の工程でそのまま埋められる

製薬側の課題

支持体の課題は追従性・伸縮が半数、他は1割強以下

課題の半数が追従性・伸縮

「伸縮の方向」の規定は無し



技術から広がる用途候補

12候補のうち3技術すべてが直撃するのは貼付剤基布だけ

用途候補	伸長 貼合	超音波	エンボス 型	目付 200まで	投資 3,000万	落ちる理由
①貼付剤・医療テープの伸縮基布	●	●	●	○	○	本命
②介護パッド部材・防水シート	●	○	○	○	○	藪・顧客集中
③自動車内装ロール材	○	●	○	×	○	目付が届かず
④業務用清掃シート・モップ	○	○	●	○	×	投資が枠外
⑤医療ガウン	—	—	—	—	—	価格で負ける
⑥透湿防水シート（建材）	×	—	—	—	—	先行者あり
⑦保冷バッグ用複合材	×	—	—	—	—	実例なし
⑧フィルター濾材	—	—	—	—	—	土俵が別
⑨電池セパレータ	—	—	—	—	—	土俵が別
⑩アスファルトルーフィング	—	—	—	×	—	目付4～7倍
⑪農業資材	—	—	—	—	—	市場が小さい
⑫医療用テーピング基材	●	○	○	○	○	ISO 13485

●直撃 ○使える ×届かない —技術以前の理由で落ちる

貴社の技術棚卸し

差別化になる技術は3つ、残りは同業も持つ

設備

- ・ホットメルトラミネーター
2ライン（最大幅2400mm）
- ★超音波融着機
（シール&カット）
- ★エンボスロール数十本
- ・スリッター
- ・簡易クリーンルーム
（ISOクラス8相当）

加工技術

- ★伸長貼合のテンション制御
（弾性体を2～3倍に伸長）
- ・ホットメルトの塗工パターン
制御（1～5g/m²級）
- ・薄物の低張力搬送
（10～25g/m²）
- ・3～4層の位置合わせ
（幅方向±数mm）

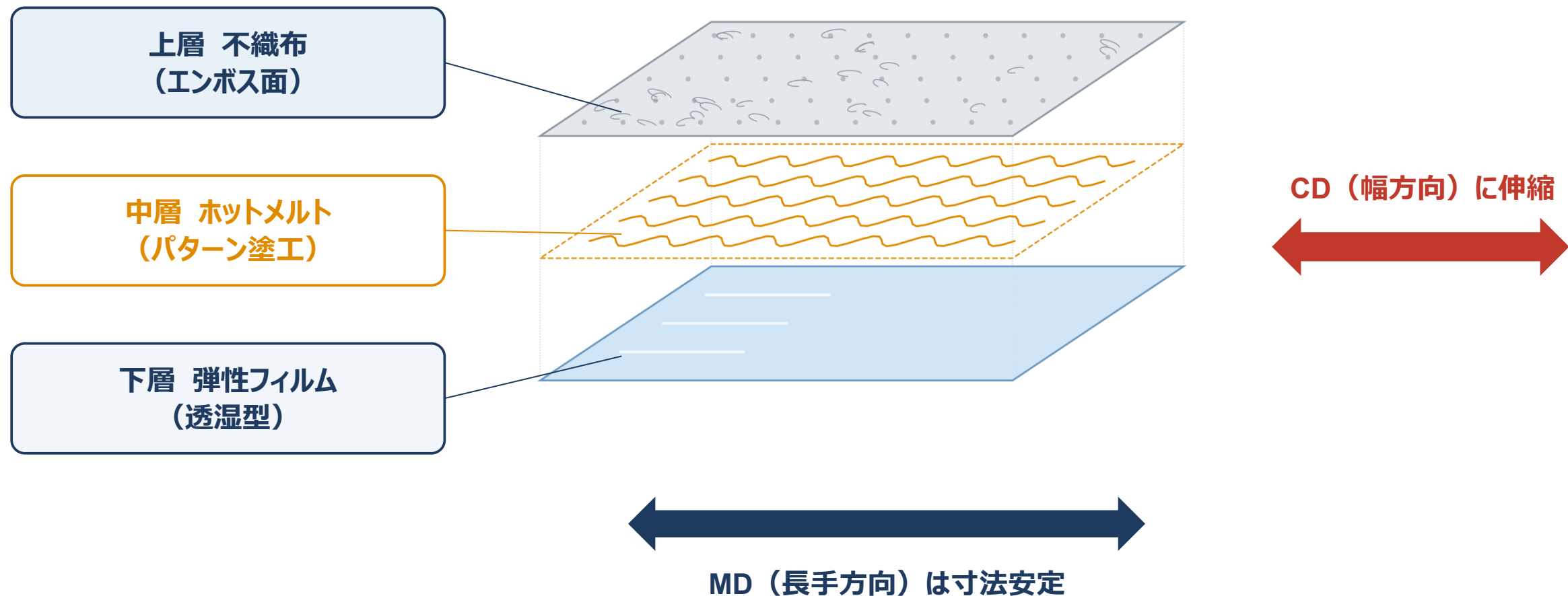
管理・体制

- ・クリーンルームでの
衛生品質管理
- ・ロットトレース
- ・目付10～200g/m²・
多層貼合に対応
- ・衛生材料メーカーへの
納入実績

★ = 貴社の差別化（3つ） ・ = 複合加工の同業も持つ

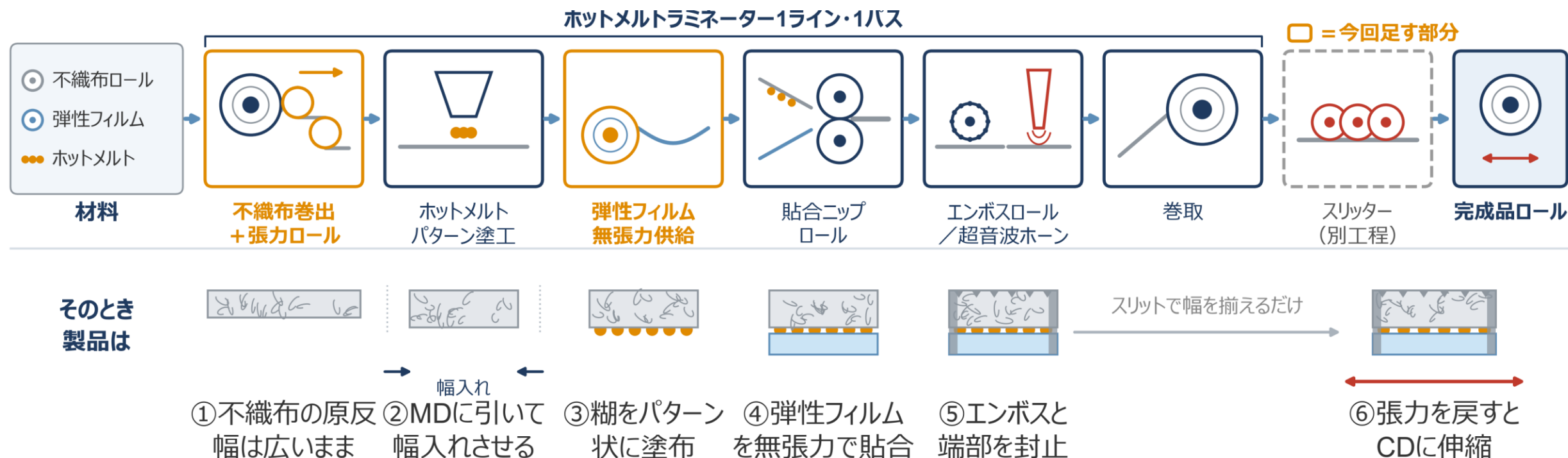
提案製品「方向性伸縮基布」

幅方向だけ伸びる基布を、不織布を幅入れて既存ラインで作る



作り方（工程図）

材料3つを既存ライン1パスで、伸ばすのは弾性体ではなく不織布



※断面は模式図。層の厚みは実寸比ではない

■ 不織布（上層） ■ ホットメルト（中層） ■ 弾性フィルム（下層）

目標値

層ごとに目標値を置き、未確定は幅入れ率・MD許容値・全身用透湿度・剥離強さの4つ

機能	品質特性	目標値	担う層
剥がれない・つっぱらない	CD伸長率	膝60%超・肩61%・腰29% (平均。前屈時は最大103%の報告)	下層
動いても戻る	50%モジュラス・回復率	100～500N/2.5cm・80%以上	下層
CDに伸びる量を作る	幅入れ率（ネック率）	第1案 50%（実装例37.5～60%の中央） CD60%が出る保証は無い・試作で決める	上層（工程）
かぶれない	透湿度	局所用 3,000g/m ² ・day以上 全身用は未確認・製薬側の要求値で決める	中層＋下層
裏抜け・毛羽なし	通気度・剥離強さ	通気度 61～154cm ³ /cm ² /s 剥離強さは試作で決める	上層
形が崩れない	MD伸長率	展膏時の張力での伸びを規定 実数値は製薬側ヒアリング	上層

出典 | CD伸長率：膝＝最大屈曲時に膝直上で60%超（Rupani 2025, doi:10.1098/rsif.2024.0794）／肩＝腕の最大挙上時に肩甲骨部で最大60.9%（Carnevale 2021, doi:10.3390/s21175761）
腰＝体側屈時の平均29%（Rupani 2025）。前屈では最大103%の報告がある（Gibbons 2025, doi:10.1016/j.jmbbm.2025.107161）
いずれも皮膚側の実測値であり、基布の規格値ではない
50%モジュラス・回復率：JP2005119972A 明細書【0007】の好適範囲／透湿度：JP5457446B2【0001】、測定は JIS Z 0208
通気度：JP7770098B2 の記載、JIS L 1096 A法（フラジール形法）／剥離強さ：参考として JP7506460B2 にフィルムと繊維シートの層間剥離強度の記載がある
幅入れ率：実装例37.5～60%（37.5%は特許2919980【0082】の32→20インチからの換算、60%は特許5039040の「60%ネック付与」）。特許5039095は約10～80%（望ましくは20～60%）とする
MD伸長率：出典なし（未確認）

今後確認する項目

残るのは未取得の数値と試作、公報は記載内容の整理が次の作業

未取得・要確認（全量開示）

- ・市場規模の数字
- ・MD許容値など数値5項目
- ・関連公報26件の記載内容の整理
- ・展膏ラインの張力と許容伸び
- ・ネック率と仕上がり幅の試作値
- ・透湿型フィルムの調達先と透湿度
- ・用途BはMD伸縮、用途Aと作り分け

① 関連公報26件の記載内容を整理



② 試作・実測（目標値と突合）



③ 支持体の特許化している製薬会社と
原反供給元へ初回接触